

「心田を耕す」

心を田んぼになぞらえた、心田という言葉がある。私の心は時に、草ぼうぼうで石がゴロゴロ転がった荒れ放題の田んぼになってしまう。荒れてしまった心田はまた一から土地を掘り起こし、鍛錬するしかない。自分の心は自分で耕すほかないのである。よく耕された、豊かな土地に蒔かれた種子のみが、大きな実を結ぶ。

(いのちの言葉 日野原 重明)

街並みを見渡せばキラキラと煌めくイルミネーションや華やかなデコレーションに目を奪われ聴こえてくるクリスマスソングに心が躍り、ワクワク感が増してくる時季になりました。

先月の収穫感謝祭では、家庭から持ち寄られた野菜や果物を備え、自然の恵みと収穫を支えてくださった神様や周囲の人の働きに感謝しながら祈りを捧げました。並べられた林檎やパイナップルの匂いを嗅いだり、南瓜の形に興味を持ち触れてみるなど食物への関心が広がっていました。又、子どもたちは園で育てたトマトや苺、紫キャベツのことをよく覚えていて「水をあげたね」「甘かったよね」などと体験したことを言葉にしていました。「たねくんとよいはたけ」の紙芝居の中では、固い道路やゴロゴロとした乾いた石地、トゲトゲした茨の中、良く耕された畑など、様々な条件の場所に種が落ちる話から始まります。そして、鳥が来て食べられてしまったり、根が張れず枯れてしまったり、茨に塞がれ実が付かなかったりと、環境によって大きな変化が起きます。私たちもこの土地と同じではないでしょうか。どんなに良い言葉を聞いたり優しくしてもらっても、受け入れる側の心の持ち方で根を張ることも、葉を付けることも花を咲かせることもないのです。心には形がなく、目に見えないため疎かにしてしまう事もあります。腹を立てたり一喜一憂したり、傷付き荒れてしまう事もあります。そんな時は、立ち止まりゆっくりと見つめ直す必要があります。時には不要な物を捨て、当たり前だと思っているものに目を向け感謝し、素直な心や思いやりの気持ちを持つことが大切になります。子ども達が豊かな実を結ぶ事が出来、愛されている大切な自分である事を感じられるよう心持ちに寄り添い共に歩んで参りたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子 職員一同

12月聖句

ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

イザヤ書9章5節

12月主題

「うれしいね」0歳

- ・保育者や友だちと一緒にクリスマスを感じ、絵本やさんびかを楽しむ。
- ・思いを言葉にしてもらうことで、安心し、満たされる。
- ・外気に触れながら、冬の訪れを感じる。

「うれしいね」1・2歳

- ・保育者や友だちと一緒にクリスマスを喜び、お話や賛美を楽しく受け取る。
- ・保育者や友だちと喜びを言葉や身体で表す。
- ・風や空気の冷たさ、日の入りの早さなどを感じ、冬の訪れを感じる。

～子どもたちの姿～

12月に入り、朝夕の寒暖差が大きくなり冷え込みが特に冬本番を感じさせてくれます。身体を動かすことが好きな子どもたちは、少しくらいの寒さには負けずに平均台を渡ったり、トンネルをくぐったりと活動的に過ごしています。風に飛ばされた葉を見つめ「葉っぱがよーいドンしてる！」と例える様子に、想像する力の芽生えを感じるこの頃です。収穫感謝祭では廃材で作った野菜や果物を並べ汽車に乗って買い物をしたり、貨車に積んで運ぶなど順番や役割りを決めてマルシェを楽しみました。又、友達と力を合わせゴールすることに嬉しさを感じている姿もありました。今月も育ち合う時を大切に過ごしていきたいと思います。



	月	火	水	木	金	土	日
12月の予定表					1 歯科検診	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12 身体測定	13 クリスマス祝賀会	14	15	16	17
	18	19	20 避難訓練	21	22	23	24
	25	26	27	28 クレイシュ通信	29	30	31

◎12月12日はクリスマス祝賀会になります。詳細は別紙にてお知らせします。
 ◎年末に荷物を全て持ち帰りますので、名前やサイズの確認をお願いいたします。
 ◎12月29日(金)～1月3日(水)までは保育園は休みとなります。規則正しい生活を心がけ、健康安全に留意しお過ごしください。